

題材 「 書写「蚕」 」 ○時間中の第○時

(1) 学習のねらい

筆と墨を使って「左右」と書く場面で、筆順と、横画、左はらいに意識を向けた子どもたちが、「天」と「虫」のバランスの異なる4種類の「蚕」の字を見比べることを通して、部分の組み立て方に気を付けると良いことに気づき、「蚕」の字を、「天」と「虫」の組み立てのバランスを意識して書くことができる。

(2) 本時の学習材

「天」と「虫」のバランスの異なる4種類の「蚕」

○手本を見ずに書いた「蚕」と、手本を見比べて、どこに気をつけたら自分の字が良くなるかを子どもたちが考え出したところで、学習材を提示する。

○本学習材は、「天」と「虫」のバランスの良い手本の「蚕」と、「天」が大きい「蚕」，「虫」が大きい「蚕」，「天」と「虫」が離れすぎた「蚕」の4種類である。子どもたちは学習材に出合って、手本の「蚕」と後3つの「蚕」を見比べ、手本との違いを見つけるだろう。また、自分で書いた「蚕」と学習材の「蚕」との共通点を見出し、自分の字を手本に近付けるための課題に気づくことが期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 教師の話をきく	・先生って書道部だったんだ。	5'	・書写へのやる気を喚起する。
	2 手本を見ずに「蚕」を書く。	・僕たちが飼ってる「蚕」の字、きれいに書きたい！		
展開	3 自分の「蚕」と手本を見比べる	0 手本と全然違うよ。上手く書けない		・手本を配る。
	4 4種類の「蚕」の字を見比べる。	学習問題 「蚕」を美しく書くためにはどうしたらよいだろうか。 ・「天」が大きすぎる「蚕」に僕の字が似てるよ ・「天」と「虫」が離れすぎて変な字だ ・「虫」を「天」と同じ大きさに直したら手本に近付きそうかも 0 「天」と「虫」のバランスに気をつければ良くなるね！	30'	○自分の字と手本とに違いがあることに気づいたところで学習材を出す。 ・書画カメラで学習材を順番に提示する。改善すべき点を子どもに指で示してもらう。
終末	「天」と「虫」の組み合わせのバランスに気を付けて「蚕」を書こう。	学習課題		学習材 4種類の「天」と「虫」のバランスの違った「蚕」
	5. 手本を見ながら「蚕」を書く	・「天」を小さくしたら良くなった！		○「手本に近付けるにはどこをどう変えたらいいかな。」
終末	6. 清書を書き、提出作品を決める	・「天」と「虫」の間が広すぎみたい。 ・墨で字が真っ黒につぶれちゃうよ。 ・右はらいがうまくいかない。 ・名前で失敗しちゃったー！！ ・どっちを提出しよう、悩むなあ	10'	・手本と半紙を縦に半分に折るように伝える。(中心線 ・児童個々の課題点(右はらいなど)についても机間指導する。 評価
	7. 片付け			【評価(対象)】児童は、「天」と「虫」の組み立てのバランスを意識して書くことができたかを、「蚕」と書いた清書一枚、取り組みの様子、振り返りシートからとらえる
	8. 一枚目の作品と清書を見比べ、振り返りシートで自己評価をする	・一枚目より良くなった！ ・もっと書きたかったよ、まだまだ。 ○「天」と「虫」のバランスに気を付けて書けたよ！		